

令和7年度 第34回関東高等学校空手道選抜大会 実施要項

1. 主 催 全日本空手道連盟関東地区協議会 関東高等学校体育連盟
2. 主 管 千葉県空手道連盟 関東高等学校体育連盟空手道専門部
千葉県高等学校体育連盟空手道専門部
3. 後 援 千葉県 千葉県教育委員会 (公財) 千葉県スポーツ協会
千葉市 千葉市教育委員会 千葉市スポーツ協会
4. 期 日 令和8年1月17日(土) ～ 18日(日)
5. 会 場 YohaSアリーナ ～本能に、感動を。～ (千葉公園スポーツ施設内)
〒260-0045 千葉市中央区弁天4-1-2 TEL 043-253-8050
(最寄り駅：千葉都市モノレール「千葉公園駅」)

6. 競技種目 団体形・団体組手(3人制・5人制)・個人形・個人組手
各種目男女別 合計10種目
個人組手階級表

男子個人組手		女子個人組手	
-55kg級	55.0kg未満	-48kg級	48.0kg未満
-61kg級	55.0kg以上 61.0kg未満	-53kg級	48.0kg以上 53.0kg未満
-68kg級	61.0kg以上 68.0kg未満	-59kg級	53.0kg以上 59.0kg未満
-76kg級	68.0kg以上 76.0kg未満	-66kg級	59.0kg以上 66.0kg未満
+76kg級	76.0kg以上	+66kg級	66.0kg以上

7. 大会日程

1月17日(土)	09:00	開場・受付
	10:00～10:30	各都県審判長会議
	10:00～11:00	個人組手競技 計量
	10:00～12:00	形競技 公式練習
	10:30～11:00	各都県委員長会議
	11:00～11:30	審判員会議
	11:30～12:00	監督会議
	12:15～12:45	開会式
	13:00～17:45	競技
1月18日(日)	08:00	役員入館
	08:30～08:45	審判員会議
	09:00～15:30	競技
	16:00～	閉会式

8. 計 量
 - (1) 男女個人組手に出場する全ての選手は、計量時間内に計量を受け、参加資格の確認を受けなければならない。
計量場所 2F 更衣室(男子)・審判室(女子)
 - (2) 計量の時間帯であれば何度でも計量することができる。
 - (3) 計量の服装は、男女ともに上衣は半袖のTシャツ、下衣はハーフサイズのスパッツとする。包帯・サポーター等の着用は一切認めない。

- (4) 階級については下記の表のようになる。ただし、着衣分として+0.5kgと考える。
計測器測定幅として± 0.5を考慮する。測定器の表示幅を下記の表のように定める。

当日の計量値幅

男子個人組手		女子個人組手	
-55kg級	56.0kg未満	-48kg級	49.0kg未満
-61kg級	55.0kg以上 62.0kg未満	-53kg級	48.0kg以上 54.0kg未満
-68kg級	61.0kg以上 69.0kg未満	-59kg級	53.0kg以上 60.0kg未満
-76kg級	68.0kg以上 77.0kg未満	-66kg級	59.0kg以上 67.0kg未満
+76kg級	76.0kg以上	+66kg級	66.0kg以上

- (5) 時間内に未計量、あるいは届け出た階級の体重区分に適さない場合は棄権となり、個人組手出場の権利を失う。「体重区分に適さない」とは、規定体重を超えた場合だけでなく、規定体重に達していない場合も含む。
- (6) 試合への出場を希望する選手は、発育・発達過程にある高校生であることを考慮し、無理な体重管理を行ってはいけない。
(公財) 全国高体連空手道専門部HP参照

9. 競技規定

(公財) 全日本空手道連盟競技規定に準じて行う。競技の運用については関東高等学校体育連盟空手道専門部参加心得・申し合わせ事項による。
特に、組手競技においては指定の安全具の装着を徹底する。
女子：拳サポーター、ボディプロテクター、
ニューメンホーⅦのみ
シンガード・インステップガードの4点
男子：上記にセーフティカップを加えた5点

10. 競技方法

- 形競技、組手競技ともにトーナメント方式とする。
- 団体競技においては、登録された範囲内で選手の交替ができる。
5人制はチームの勝敗が決した時点で試合を終了する。3人制の1回戦は勝負が決まっても全員行う。
- 個人競技においては、登録された選手の交替はできない。
- 形競技においては、回戦毎に定められた範囲の中から演武する形を選ばなければならない。
- (公財) 全国高体連空手道専門部規定の赤・青の帯は各校で準備する。
※ 個人組手の出場者は顔写真を事前提出する。

11. 参加資格

- 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校（中等教育学校後期課程を含む）に在籍する生徒であること。
- 選手は、各都県高等学校体育連盟に加盟している高等学校の1・2年生の生徒で、当該競技要項により参加資格を得たものに限る。
- 年齢は平成19年4月2日以降に生まれたもので19歳未満の者とする。但し、同一学年での出場は1回限りとする。
- チーム編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程・単位制課程の生徒による混成は認めない。

- (5) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会の参加を認める。
- (6) 転校後6ヶ月未満の者は参加を認めない（外国人留学生もこれに準ずる）但し、一家転住等のやむを得ない場合は、各都県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。
- (7) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校長及び所属高等学校体育連盟会長の承認を必要とする。
- (8) (公財)全日本空手道連盟の令和7年度登録競技者であること。
- (9) 参加資格の特例
 - ア 上記(1)及び(2)に定める生徒以外で、当該競技要項により大会参加資格を満たすと判断され、都県高等学校体育連盟が推薦した生徒について、別途に定める規定に従い大会参加を認める。
 - イ 上記(3)の但し書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技2回限りとする。

[大会参加資格の別途に定める規定]

- 1 学校教育法第72条、115条、124条及び134条の学校に在籍し、都県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
- 2 以下の条件を具備すること。
 - (1) 大会参加を認める条件
 - ア 関東高等学校体育連盟の目的を理解し、それを尊重すること。
 - イ 参加を希望する専修学校及び各種学校にあっては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。
 - ウ 各学校にあっては、都県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ関東大会及び関東選抜大会への出場条件が満たされていること。
 - エ 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行なわれており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失することなく、運営が適切であること。
 - (2) 大会参加に際し守るべき条件
 - ア 関東高等学校体育大会開催基準要項を遵守し、競技種目大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - イ 大会参加に際しては、万一の事故の発生に備えて傷害・賠償保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
 - ウ 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

12. 参加制限

各種目の出場チーム数・選手数は、次のとおりとする。

- (1) 団体種目は各都県2チーム（団体組手3人制は1チーム）までとする。

＜チーム編成＞			
団体組手5人制	正選手5名	補欠3名	
団体組手3人制	正選手3名	補欠1名	
団体形	正選手3名	補欠3名	

- (2) 各校毎に選手に監督1名、コーチ1名の参加を認める。但し、男女両方の参加校に限り、更に1名の監督の参加を認める。監督は(公財)全日本空手道連盟登録会員であること。

- (3) 個人組手は各階級・各都県1名、個人形は各都県2名までとする。
- (4) 令和7年度の全国高等学校空手道選抜大会への推薦出場枠を持つチームおよび個人は、関東選抜大会へは出場せず、直接全国選抜大会へ出場することとなります。（関東選抜大会への出場権はありません）

※外国籍選手の出場枠について

- (1) 学校教育法第1条に規定する高等学校に卒業を目的として在籍している生徒であること。
- (2) 在籍校が当該都県高等学校体育連盟に加盟していること。
- (3) 年齢は、平成19年4月2日以降に生まれた者とする。
- (4) 短期留学は除く。
- (5) 団体種目においては正選手の半数を超えない人数までとする。個人種目においては人数枠を設けない。

13. 参加制限

引率・監督・コーチ

- (1) 出場選手は必ず引率責任者によって引率される。引率責任者は選手のすべての行動に対して責任を負うものとする。
- (2) 引率責任者は団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」（学校教育法施行規則78条の2に示された者）も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は都県高体連会長に事前に届け出ること。
- (3) 監督・コーチは校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。但し、各都県における規定が定められ、引率・監督者がこの基準より限定された範囲内であればその規定に従うことを原則とする。

14. 審判員

関東高等学校体育連盟空手道専門部審判員が担当する。

15. 参加申込方法

- (1) 当該校校長の責任において、所定の様式により定められた期限までに各都県専門部委員長がまとめて申し込む。
- (2) 申込締切日 令和7年11月14日(金) [必着]
- (3) 申込先

〒289-2505 千葉県旭市鎌数字川西5146
 千葉県立東総工業高等学校 綿貫 慎太郎
 TEL 0479-62-2522 FAX 0479-62-4425
 E-mail s.wtnk2@chiba-c.ed.jp

※ 個人情報の取り扱いについて（別紙）

大会参加に際して提供される個人情報は大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。

16. 参加費
- (1) 金額 ① 団体種目1種目／1チーム・・・30,000円
② 個人種目1種目／1名・・・・・・ 3,000円
- (2) 振込方法
各都県の専門部委員長がまとめて下記の銀行口座に振り込み、振込書の写しを大会参加申し込みと同時に前項の申込先に送付する。

銀行名	千葉銀行
店名	野田支店
預金種目	普通預金
口座番号	4139800
口座名義	千葉県高体連空手道専門部 大会実行委員会

17. 抽選会 令和7年11月22日(土) 13:00～
各都県専門委員長立ち会いのもとで、大会実行委員会が行う。
成田高等学校 視聴覚教室
〒286-0023 千葉県成田市成田2-7
TEL 0476-22-2131 FAX 0476-23-0234

18. 表彰 (1) 賞状 南北別戦において個人組手・3人制団体組手は決勝進出選手、そのほかの種目は準決勝に進出した選手・チームに賞状を授与する。

19. 宿泊 (1) 宿舎 宿泊する場合は必ず、大会本部の指定する宿舎に宿泊すること。

- (2) 宿泊料金 (Aランク) : 1泊2食付 14,500円
(Bランク) : 1泊2食付 13,500円
(Cランク) : 1泊2食付 12,500円

※宿舎により夕食提供がない場合は全国共通お食事券「ジェフグルメカード(1,500円)」対応とする。

- (3) 弁当料金 1食(お茶付き) 1,100円 (税込)

- (4) 申込方法 当該校長の責任において、別紙「令和7年度(第34回)関東高等学校空手道選抜大会宿泊・弁当申し込み要項」の通り申込む。また、各学校は請求書に基づき、期限までに指定された銀行口座に振り込む。

- (5) 申込期間 令和7年10月28日(火)～11月17日(月)
宿泊および弁当申込先

T-LIFEパートナーズ株式会社 松戸支店 令和7年度(第34回)関東高等学校空手道選抜大会 配宿センター 担当：今関 三上・中口 〒271-0091 千葉県松戸市本町1-8-4 NBF松戸ビル602 TEL 047-363-6191 E-mail karate-kanto2025@t-life.co.jp

20. その他 (1) 競技中の疾病・傷害等の応急処置は主催者が行なうが、その後の責任は負わない。また、主催者は大会役員と選手を対象に団体傷害保険に加入する。
- (2) 参加者は、関東高等学校体育連盟空手道専門部の大会参加心得・申し合わせ事項に従う。